競技注意事項

１．競技規則について

本大会は、２０２４年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

２．練習について

練習は係員の指示により下記によって実施する。原則として、その日に競技のある選手のみとする。

（１）競技場の外周及び競技場内の競技に支障をきたさない場所において練習すること。競技場内での練習は、競技開始３０分前まで開放するがお互いに譲り合って練習すること。原則として、その日に競技がある選手のみとする。

（２）フィールド競技の各ピットは、競技に支障がない範囲で開放するが、競技役員の指示に従って使用すること。

（３）室内走路の使用を禁止する。但し、雨天時の場合は別途指示する。

（４）投てき種目の練習は、投てきピットのみとし、投てきピット以外での練習は、禁止する。（メディシンボール等も禁止）

３．招集及び入退場について

招集所は第１ゲート外側（１００ｍスタート後方）に設置する。

（１）招集時刻は競技開始時刻を基準として下記の通りとする。

トラック競技は１５分前を招集完了とする。

フィールド競技は４０分前を招集完了とする。

リレーのオーダー用紙は、招集所で配布する。各ラウンドの第１組目の招集完了時刻１時間前までに競技者係に提出する

（２）２種目同時出場する場合は、１種目終了時刻から５０分以内の競技者は「同時出場届」を提出することができます。以上の手続きにより、１種目目に出場する種目の招集時に、２種目目の招集を受けたことになり、１種目目終了後、直接２種目目の競技地点に移動することができます。

また、いずれかの種目を棄権する場合は棄権届を招集所に提出してください。

（３）招集手順

①招集開始時刻から完了時刻までの間に招集所で、競技役員にアスリートビブスとシューズ（スパイク）、衣類及び競技場内への持ち込み物品等の確認を受ける。代理人による最終点呼は認めない。（８００ｍ以上のトラック種目は、腰ナンバー標識を受け取る）トラック競技で使用するシューズのソールの厚さを確認することがある。競技終了後、違反シューズの使用が疑われる場合、審判長が個別に確認することがある。

②最終点呼後、各自でトラックはスタート地点、フィールドはピットに移動する。

（４）招集の注意事項

①出場すべき競技種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに招集所の競技者係に「欠場届」を提出する。届けずに欠場した者は、本協会が主催する競技会に出場を認めない処置を講ずることがある。

②招集完了時刻に遅れたり、競技者係からのチェックを受けなかったりした場合、その競技者は欠場したものとして処理される。

４．アスリートビブスについて

各競技者は、プログラムに記載された番号と同じアスリートビブス（２４㎝×１６㎝以内）を、ユニフォームの胸部と背部につける。離れたところからでも見えるように作成して着用すること。男子黒文字、女子赤文字とする。

（１）跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか片方でもよい。

（２）４×４００Ｒ（第２・３・４走者）と８００ｍ以上の中・長距離の競技に出場する競技者は腰ナンバー標識をパンツの右側後方につける。腰ナンバー標識は招集所で配布する。

（３）3000ｍ、5000ｍ、10000ｍ、3000ｍSC、および 5000ｍ競歩については、胸背部

ともレーンナンバーと同数字の特別ナンバーを使用する。
特別ナンバーは招集所にて事前配布する。

５．競技運営について

本大会は下記の主な留意事項に基づいて運営する。

（１）競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。

（２）トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに役員（審判および該当補助員）以外は立ち入ることはできない。フィールド競技はコーチングエリアを設ける。競技者とコーチがコミュニケーションをとる場合のみとするので、エリア内に常駐しないこと。

（３）競技者がレコーダー、ラジオ、ＣＤ、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の電子機器を競技場内に持ち込んだり使用したりすることはできない。(TR6.3.2)
　また、競技者本人が携帯もしくは着用して使用する心拍計、速度・距離計、ストライドセンサー、その他の類似の機器を使用する場合は、他者との通信が使用不可能なものに限る。(TR6.4.4)

（４）トラック競技の着順及び計時は原則として写真判定で行う。

（５）タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して０．００１秒単位の時間を判定して進出者を決定する。それでも決まらないときは、当該競技者の抽選とする。

（４）セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り、他の競技者の妨害をしない。

（５）フィールド競技における競技場内での練習は審判員の指示により行う。

（６）各レースで不正スタートは、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。スタートの合図については英語で行う。

６．走高跳、棒高跳決勝におけるバーの上げ方について

種　目	性別	競　技	練　習
走高跳	男	1m75 - 80 - 85 - 88 - 91 - 94　以降も３㎝刻み	1m70 1m90
	女	1m45 - 50 - 53 - 56 - 59 - 62　以降も３㎝刻み	1m40 1m55
棒高跳	男	3m60 - 70 - 80 - 90 - 4 m00 以降も 10 ㎝刻み	3m50 4m20
	女	競技役員の指示で行う	

（１）天候その他の関係で変更することがある。練習の高さは、選手の状況などにより変更することがある。

（２）第１位を決めるためのバーの上げ下げは、走高跳で２㎝、棒高跳で５㎝刻みとする。

（３）競技場設置の滑り止め（炭酸マグネシウム）は、感染防止のため共用しないので、必要な競技者は、各自で準備すること。

７．スパイク（シューズ）の制限について

本競技場におけるスパイクピンの数は１１本以内とする。また、スパイクピンの長さは９mm 以内とする。ただし、走高跳については、１２mm 以内とし先端の直径は４mm 以内でなければならない。(TR5.3、 TR5.4、 TR5.5、 TR5.6)

フィールド競技用シューズの WA 規則第１４５条（TR5.5）適用除外措置については、日本陸連の移行措置に則り競技を実施する。ただし、砲丸投に関してはスローイングシューズ以外のシューズの使用を認める。

８．競技用器具について

競技者が本大会で使用する器具は、棒高跳競技のポールを除いては、全て主催者の用意したものでなければならない。ただし、ハンマーを除く投てき用器具については

検定を合格したものに限り使用することができる。検定は、競技開始１時間前までに器具庫にて行うこと。

９．抗議 について

（１）競技の結果または行為に関する抗議は、その種目の正式通告後３０分以内に競技者自身もしくは代理人が審判長に対して口頭で申し出なければならない。

（２）次のラウンドが行われる競技種目ではその結果が正式に通告されてから１５分以内に申し出なければならない。

（３）口頭での抗議に対する裁定に不服の場合は、その競技者に代わる責任者（顧問または監督）が、文書と預託金１０,０００円を添えて本大会総務へ正式な抗議の手続きをとる。尚、この預託金は上訴が受け入れられなかた場合は没収される。

10. 表彰について

各種目の３位までの入賞者に賞状を授与する。

表彰に参加する場合は、所属ウエアやＴシャツを着用すること。

11. 一般注意事項について

（１）応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、本部に連絡する。ただし、競技場での疾病・傷病等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。

（２）競技場内に、横断幕およびノボリ旗等を取り付ける場合は、スタンド周囲最前部以外に取り付けること。

（３）ゴミは各チームでゴミ袋等を利用して管理し毎日終了時に持ち帰ること。

12. その他

（１）大会の記録や映像、それらに基づくパフォーマンス分析結果などについて、主催者及び関係者が公式ホームページに記載することがある。

（２）商標などの規定については，「競技会における広告及び展示物に関する規定」を 遵守すること。これに違反した場合は，主催者で処理する。

　競技場内で着用できる衣類等、持ち込めるバック等について、製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数について定められているので，選手、役員ともに事前に確認をすること。

　違反と認められるものについては、テープ等でマーキングを事前に行い招集上に集合すること。

（３）競技終了後は、バックスタンドを通り戻ること。競技終了後の室内練習場内の通行は禁止とする。第２ゲート開扉の場合は競技場を出て戻ることも可能。（楽天野球が開催の場合は開扉はしない。）